仲間と共に踏み出す「自分の一歩」

本キャンプ【8泊9日】

7.30 SAT → 8.7 SUN

事前キャンプ 7.9 SAT → 7.10 SUN

令和４年度文部科学省委託事業

チャレンジキャンプ2022

統合型長期キャンプ

参加対象 小学校5年生～中学校3年生（定員12名）

申込締切 6月15日（水）必着

https://myoko.niye.go.jp

募集要項・参加申込書ダウンロードできます

内　容 9日間で海から山までの100kmを歩いて移動しながら、「カヌー」「登山」「野外炊事」「テント泊」「食材の買い出し」など、様々なチャレンジに挑戦します。一人一人が自己を見つめ、他者と協働しながら課題に立ち向かい、最後までやり抜くことを通して、「自分の一歩」を踏み出します。

統合型キャンプとは 様々な個性や特性をもつ子供たちが、性別や障害の有無等に関係なく、自然やチャレンジへの挑戦や他者との協働を通して、お互いを認め合い、成長し合っていくことをねらいとしているキャンプです。

支援体制

国立妙高青少年自然の家スタッフ、学生スタッフ、臨床心理士が帯同します。

「体験の風をおこそう」運動

いじめ見逃しゼロ県民運動

令和4年度　国立妙高青少年自然の家　実践研究事業
■主催／独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立妙高青少年自然の家
〒949-2235　新潟県妙高市大字関山6323−2　TEL：0255−82−4321　FAX：0255−82−4325　E-mail　myoko-sen@niye.go.jp
■後援／新潟県教育委員会、妙高市教育委員会、上越市教育委員会、糸魚川市教育委員会

チャレンジキャンプ 2022

1 趣　旨

海や山が近い妙高青少年自然の家の立地を生かし、海から山へと 100 kmの道のりを進みながら、様々なことにチャレンジします。「歩く」活動をメインとし、カヌーや登山にもチャレンジします。野外炊事、テント泊、食材の買い出しなど、自分たちの力で行う活動もあります。一人一人が自己を見つめ、他者と協働しながら課題に立ち向かい、最後までやり抜くことを通して、これからの生活につながる「自分の一歩」を踏み出す後押しをするキャンプです。

9日間のキャンプを通して、子供たちの最後までやり抜く力、自主性、仲間とかかわる力を高めながら、自己肯定感の育成を図ることを目的としています。

「登山やキャンプに挑戦したい!」「自然体験に興味や関心がある!」「自然大好き!」「自分に自信をつけたい !」「悩みを解決するきっかけにしたい !」など、様々な思いをもった子供たちの参加を待っています。また、本事業はいじめ・不登校・ADHD 等の発達障害・ネット依存などに関する子供たちを取り巻く今日的課題を支援する事業でもあります。

このキャンプは、スーパーアドバイザーの筑波大学教授・臨床心理士　坂本昭裕氏のご指導のもと実施します。キャンプの全日程に、自然の家スタッフ、同大学スタッフが帯同します。参加した子供たち全員の安全を確保するとともに、お互いを尊重し合い、支え合い、成長し合える環境を作り、たくましい心身の成長を支援していきます。

2 自己肯定感について

妙高青少年自然の家では、自己肯定感を以下の2点としてとらえ、本キャンプにおいて一人一人の変容を行動観察やアンケートの記述から見取ります。

○自己を見つめ、自分の長所と短所、自信のあるところとないところの両方を受容し、体験をもとに、自らの成長を振り返り、自分を好きになること。

○他者とのかかわりを通じて、他者の感性や考え方に触れ、理解したり、他者から学んだりして、自らを高めていくこと。

3 感染症対策及び体調不良者の対応

○参加者には、キャンプ前の健康観察の記録を提出していただきます。必要に応じて健康診断記録（学校もしくは医療機関）を出していただくことがあります。

○テント泊では、4人用テントにつき2人で泊まります。事前キャンプでは、家族単位でテント泊を行います。

○野外炊事においては、調理前、食事前には、手指の消毒を行います。

○グループでの話合い、歩きによる移動、登山等の活動において、原則マスク着用とします。状況によりマスクを外して活動する場合は、適当な距離を空けて活動する。

○就寝前、起床後の体温測定・健康観察を行います。発熱や体調不良等の症状がある場合は、活動に参加できません。その際は保護者の方に連絡をさせていただきます。また、体調不良者の状況を見て、キャンプ全体として中止をする場合もあります。

ステージ・期日	主な活動内容	活動のねらい
準備のステージ 7月9日(土)～7月10日(日)	○開会式・全体会 ・キャンプのねらい ・本キャンプの活動内容や持ち物・装備 ・安全にキャンプを行うための注意事項 ○テント設営・野外炊事　○テント泊 ○トレッキング（藤巻山登山）○スタッフとの事前面談	・キャンプの見通しをもつ。 ・トレッキング、野外炊事、テントの設営などキャンプで行う活動の研修を行う。 ・保護者面談を行い、不安なことを解消する。
出会いのステージ 7月30日(土)	○仲間づくり　○野外炊事 ○歩き（海岸からキャンプ場）○テント泊	・キャンプ生活の基本的な生活習慣を身に付け、自分なりの目標をもつ。 ・グループの仲間とかかわり、チャレンジに取り組む。
協力のステージ 7月31日(日)～8月1日(月)	○歩き（キャンプ場から自然の家） ○歩き（自然の家から野尻湖） ○目標作り　○野外炊事　○テント泊	・自己を見つめ、あきらめずに活動に取り組む。 ・グループの仲間と取り組む楽しさ、達成する嬉しさを感じる。
自立のステージ 8月2日(火)～8月3日(水)	○カヌー　○歩き（野尻湖から笹ヶ峰） ○野外炊事　○テント泊	・自分の力で、活動に取り組む。 ・グループの仲間と声を掛け合い、励まし合うなどのかかわりを通じて、他者を認めながら活動に取り組む。
挑戦のステージ 8月4日(木)～8月5日(金)	○火打山登山　○ヒュッテ泊　○妙高山登山	・互いに協力して活動に取り組み、課題を達成する。
未来につなげるステージ 8月6日(土)～8月7日(日)	○後片付け　○グループで振り返り ○個人で振り返り　○ゴールパーティー企画・実施 ○閉会式	・キャンプを通して学んだことや成長した自分について振り返る。 ・キャンプの成功を祝うゴールパーティーを企画し、実施する。 ・自分の成長を仲間や家族に伝える。

※活動内容は、下見の結果や当日の天候、コロナウイルス等の感染状況で変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

【 統合型キャンプとは 】
様々な個性や特性をもつ子供たちが、性別や障害の有無等に関係なく、自然やチャレンジへの挑戦や他者との協働を通して、お互いを認め合い、成長し合っていくことをねらいとしているキャンプです。

＼進め！100km／

4 期　日

【事前キャンプ】

参 加 者　子供とその保護者

1 泊 2 日　令和4年 7月 9日（土） 9：30～
7月10日（日）15：00 解散予定

【本キャンプ】

参 加 者　子供のみ
※開会式と閉会式には、保護者も参加する。

8 泊 9 日　令和4年 7月30日（土） 9：00～
8月 7日（日）12：30 解散予定

5 募集対象

小学校5年生から中学校3年生までの男女（定員12名）

【参加条件】

○「本事業の参加に当たって」（裏面）に同意していただくこと。
○事前キャンプと本キャンプに両方参加すること。
○キャンプを最後までやり通す健康状態であること。

6 参加経費

42,000 円～ 45,000 円程度
（食費、宿泊費、活動費、傷害保険料等）
※詳細は、参加決定後文書にてお知らせします。

7 申し込み方法

○裏面の参加申込書に、保護者の責任において、必要事項をご記入ください。
・参加者情報、動機、配慮する事項など
・「本事業の参加にあたって」をよく読み、同意される項目の□にチェック
・保護者の署名と捺印
※記入漏れ、捺印忘れ、同意を確認できない等の場合は、参加ができません。
○参加申込書を下記の宛先に郵送してください。（fax、メール不可）
○申し込み締め切りは、6月15日（水）必着です。
○応募多数の場合は、抽選を行います。新規参加者を優先し、学年男女比を考慮します。
○抽選結果は、申し込み締め切り後1週間以内に連絡いたします。参加決定者には、事前キャンプの案内を送付いたします。

【宛先】
〒949-2235　新潟県妙高市大字関山6323-2
独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立妙高青少年自然の家
チャレンジキャンプ 2022 宛 （ 担当　村松・反町 ）

令和４年度国立妙高青少年自然の家　チャレンジキャンプ 2022

参加申込書

※コピー可

◎参加者情報を記入してください。（記入漏れがないようにしてください）

（ふりがな） 参加者氏名	（　　）	性　　別：男 ・ 女 年　　齢：　　歳（7/9 の時点で） 生年月日：平成　　年　　月　　日
住　　所	〒　　－	
連絡方法	自宅 TEL　　—　　—　　保護者携帯番号　　—　　— メールアドレス ※メールにて詳しい情報をお伝えすることがあります。必ず記入してください。	
学校名		学年
参加の動機		
配慮する事項	悩み事・薬の服用・アレルギー・趣旨にあるようなお子さんの特性等ありましたらお書きください	

チャレンジキャンプ 2022 をどこで知りましたか？番号に○印を付けてください。

1　チラシやポスターを見て　　2　人から紹介されて

3　自然の家のホームページを含むインターネットを見て　　4　学校から紹介されて　　5　その他（　　）

◎以下の内容全てに同意いただけることが参加条件となります。以下の項目に**チェック**と保護者氏名に**捺印**をしてください。

本事業の参加にあたって

□参加者本人は、チャレンジキャンプ2022の全日程に参加します。

□事前キャンプ(7月9日～10日)に、本人と保護者が参加します。

□アンケートやインタビューにできる限り協力します。(キャンプ中、キャンプ後(1か月後)など)

□キャンプ当日またはキャンプ期間中、発熱などの体調不良の症状のため、キャンプに参加することが難しいと判断された場合、途中でも参加を取りやめることがあります。

□当日の天候やコロナウイルスの感染状況によって活動が変更になったり、やむを得ず中止になったりする場合があります。

□健康であることを証明します。(必要に応じて、通学している学校の健康診断記録・医療機関による健康診断などの情報を提出します。)

□機構が定める個人情報の適切な管理に関する規定に対して承諾します。

- ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務及び当自然の家主催の事業案内の送付のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。
- 本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット(ソーシャルメディアサービスを含む)等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物に記事・写真を掲載することもあります。なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人(又は保護者)から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。

本事業の趣旨に賛同し、上記のとおり参加を申し込みます。

保護者　署名　　印

6月15日(水)までに参加申込書の**郵送**をお願いします。

お問い合わせ・郵送先
国立妙高青少年自然の家
〒 949-2235 新潟県妙高市大字関山 6323－2　TEL 0255-82-4321

令和４年度文部科学省委託事業

チャレンジキャンプ２０２２　開催要項
～仲間と共に踏み出す「自分の一歩」～

１　趣　　旨

（１）国や機構の方向性

平成 30 年 3 月 8 日に中央教育審議会が取りまとめた「第３期教育振興基本計画（答申）」では、多様で変化の激しい社会の中で、我が国を取り巻く危機的な状況を捉え、それを打開していくために、「自立」「協働」「創造」の理念を踏襲しつつ、今後の教育政策に関する基本的な５つの方針が示された。その中の一つ目に「夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する」が挙げられた。そのためには、「豊かな心を育むこと」が不可欠であり、自己肯定感の高まり、他者への思いやり、人間関係を築く力、困難を乗り越えものごとを成し遂げる力などが重要であるとした。

また独立行政法人国立青少年教育振興機構では、第４期中期目標において、「次代を担う青少年の自立に向けた健全育成の推進」として、『人づくり・つながりづくり・地域づくりという側面に留意した教育事業を実施する』としている。そのためには、課題を抱える青少年の支援や青少年教育に関するモデル的事業の推進が挙げられている。

（２）妙高の考え

本事業は、一人一人が自己を見つめ、他者と協働しながら、課題に立ち向かうことで、自己肯定感を育むことをねらいとする。第３期教育振興基本計画の「豊かな心の育成」の理念をベースとし、これまでの長期キャンプを通じて妙高青少年自然の家が蓄積してきたノウハウを土台とし、統合型キャンプとして実施する。統合型キャンプとは、心理的な課題や発達障害などを含む様々な個性や特性をもつ子供たちが、性別や障害の有無等に関係なく、自然への挑戦や他者との協働を通して、成長し合えるキャンプである。

２　本事業のねらい

（１）参加者の「自己肯定感」を育成する。

本事業で言う「自己肯定感」とは、以下の２点としてとらえる。

・自己を見つめ、自分の長所と短所、自信のあるところと、ないところの両方を受容し、体験をもとに、自らの成長を振り返り、自分を好きになること。

・他者とのかかわりを通じて、他者の感性や考え方に触れ、理解したり、他者から学んだりして、自らを高めていくこと。

（２）参加者の変容等を調査し、その効果について普及する。

・自己肯定感の測定評価尺度（アンケート）と質的側面の評価（日記や実際の姿）から見取る。

・各学校の集団宿泊活動や青少年団体でのキャンプでも可能なねらいに即した具体的な活動を発信する。

（３）学校生活などに様々な課題を抱える子供たちへの支援と周囲の子供たちへの支援

いじめ・不登校傾向・発達障害・ネット依存などの課題を抱える子供たちの参加を促す。充実した学校生活を送れるように、確かな力を育成することに加え、課題を抱える子供やその周りの子供たちへの効果的な支援のあり方を検証し、学校現場へ発信していく。

３　主　催　　独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立妙高青少年自然の家

４　後　援　　新潟県教育委員会、妙高市教育委員会、上越市教育委員会、糸魚川市教育委員会

５　期　間　　事前キャンプ　　令和４年７月　９日（土）～７月１０日（日）【１泊２日】
※保護者・子供参加
本キャンプ　　令和４年７月３０日（土）～８月　７日（日）【８泊９日】
※子供のみ参加　　保護者は開・閉会式に参加

６　参加対象　　全国の小学校５年生から中学校３年生の男女　合計１２名

７　運営組織（事業開発プロジェクトチーム）
（１）外部委員
平野　吉直　氏　（信州大学副学長）
坂本　昭裕　氏　（筑波大学教授）　＝チャレンジキャンプ 2022 スーパーバイザー
植木　潤　　氏　（国際自然環境アウトドア専門学校）

（２）内部委員
国立妙高青少年自然の家　企画室、教育プログラム指導室

（３）関係諸機関
・市町村教育委員会
・新潟県内適応指導教室および児童相談所・不登校親の会など
・宿泊施設

８　参加経費
４２，０００円～４５，０００円程度（食費、宿泊費、活動費、傷害保険料等）

９　持ち物
・屋外で活動および宿泊に必要な道具
・テント泊（テント、シュラフ）、野外炊事（調理器具等）は、自然の家の物品を使用
※詳細は参加者決定後に直接連絡

「体験の風をおこそう」運動®